



東郷小だより

第 1 4 号
平成 29 年 7 月 20 日
東郷小学校 校長室

いろいろな取組に感謝!

☺児童会・委員会活動☺

7月18日(火)～20日(木)の三日間、児童会が九州豪雨の被災者支援のための募金活動を行いました。募金活動の発案者、児童会長の石川悠和さんの話です。

「7月の九州地方の大雨で多くの方が被災された様子を見て、東郷小でも何かできないかと考え、募金活動をすることにしました。急な取組でしたが、多くの方が協力してくれています。」

募金活動で校内を回る、児童会役員と協力者のみなさん



“元気に登校、笑顔で下校”を合言葉に始まった今年度。あいさつと「ありがとう」がいっぱいの学校を目指して、子どもたちが様々なことに取り組んだ1学期でした。「東郷小もっとニコポカ計画」「ろう下歩行週間」「エコキャップ運動」「あいさつ運動」「げた箱をきれいにしよう運動」「図書館すごろく」「残菜調べ」「緑の募金」・・・。「紙ヒコーキ大会」「鬼ごっこ大会」といった楽しい企画もありました。



エコキャップがいっぱい!



だれのヒコーキが遠くに飛ぶかな・・・!?



先生もいっしょに楽しむ・・・鬼ごっこ大会

5、6年生には、始業式で「みんなにとって楽しい学校」となるように、物事を人任せにしないで、自分の頭で考え、正しいこと、善いこと、みんなのためになることを進んで実行してほしいと伝えました。「運動会」や「1年生を迎える会」といった大きな行事はもちろん、児童会・委員会の活動を中心に、大いに活躍した1学期でした。ありがとうございました。

児童会役員の川北悠斗さんの感想です。

「ぼくは、1学期の思い出が二つあります。一つ目は、国旗・町旗・校旗の掲揚です。最初は不安しかありませんでした。けれど、一生懸命にお兄さん、お姉さんが教えてくれて失敗することなくできました。二つ目は、1年生を迎える会です。練習をする日に、ぼくは休んでしまって、本番ちゃんとできるか心配でした。けれど本番では先生がついてくれたので、不安になることはありませんでした。今まで知らなかったことをできるようになったので、よかったです。これからもいい経験を積み重ねていきたいです。」

★命を大切にして、楽しい夏休みを★

自分の好きなことや楽しいことなど、いろいろやりたいことがある夏休み。でも、それは大切な「命」があるからできること。自分の不注意や約束を守らなかったために、かけがえのない「命」をなくすことがあつては、絶対にいけません。

2学期始業式には、家族と共に楽しい夏休みを過ごした子どもたちが、元気な笑顔で登校してくれることを心から願っています。

